



ケாஞ்சம் தமிழில் தஞ்சை நடனம்  
**時を超える  
南インドの踊り**

2015年11月22日(日)

- |     |                        |
|-----|------------------------|
| 時 間 | 13:30～16:00 (開場12:50)  |
| 場 所 | 国立民族学博物館 講堂 (定員450名)   |
| 申 込 | 要事前申込【申込締切 11月4日(水)必着】 |
| 参加費 | 要展示観覧券(一般420円)         |

主催：国立民族学博物館 協賛： 後援：在大阪・神戸インド総領事館



国立民族学博物館

# 時を超える 南インドの踊り

## プログラム

- |       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| ご挨拶   | 須藤 健一（国立民族学博物館 館長）                |
| 解説    | 寺田 吉孝（国立民族学博物館 教授）                |
| 【第1部】 | ・ソルカットゥ、ヴィルッタム、ヴァルナム              |
| 【第2部】 | ・パダム、カーヴアディ・チンドゥ、<br>ティッラーナ、マンガラム |

バラタナーティヤムは、南インドのヒンドゥー寺院でおこなわれた奉納舞踊を起源とし、1930年代に舞台芸術として生まれ変わった舞踊ジャンルです。現在、インドを代表する古典舞踊の一つとして、インド国内はもとより世界各地の南アジア系移民コミュニティでも大きな人気があります。バラタナーティヤムの誕生には、カラクシートラとよばれる音楽・舞踊学校が中心的な役割を果たしたことから、この学校で考案されたスタイルが舞踊界の主流となりました。この変化の中で、寺院舞踊の伝統を引き継ぐ舞踊家たちは活躍の場を失い、そのかわりに中上流階級から踊りを学ぶものが増えていきました。本公演では、現在でも寺院舞踊のスタイルを伝える舞踊家ナルタキ・ナタラージの演技を通して、インド舞踊文化の多様性を紹介します。

## 出演者



### ◆バラタナーティヤム〈bharata natyam〉 ナルタキ・ナタラージ | Narthaki Nataraj

南インド・タミルナードゥ州マドゥライ出身のバラタナーティヤム舞踊家。この舞踊ジャンルの基礎を作ったといわれるタンジョール4兄弟(17世紀)の子孫であるK・P・キッタッパ・ピッライ(1913-99)に15年間師事し、かれの舞踊スタイルを最も忠実に伝えている舞踊家である。インド舞踊の中心地チェンナイに拠点を移した2000年以降は、インド国内だけでなく海外でも活発な公演・教育活動をおこなっている。

◆メークアップ、舞台進行  
(make-up, stage coordination)

シャクティ・バスカル  
| Sakthi Bhaskar

◆ナットウヴァンガム  
(nattuvangam)

K・パールッタサーラティ  
| K. Parthasarathy

◆声楽  
(vocal)

カウシク・チャンパケーサン  
| Kaushik Champakesan

◆ムリダンガム(太鼓)  
(mridangam)

M・ダナムジャヤン  
| M. Dhanamjayan ほか



## 申込方法

申込締切 11月4日(水)必着

※応募多数の場合は抽選となり、締切日以降、順次返信いたします。

申込フォームの場合

国立民族学博物館のホームページ内にある申込フォーム画面に従って必要事項をご入力ください。

【申込フォームURL】※11月4日(水)17:00受付終了  
<https://www.minpaku.ac.jp/museum/event/slp/scform01>

みんぱく研究公演 申込フォーム 検索

### 往復はがきの場合

往信面に下記①～⑦と、返信面に申込者の住所・氏名をご記入のうえご応募ください。

- ①氏名・ふりがな ②住所(返信用宛名面にも)  
③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加希望人数  
(本人を含め2名まで) ⑥「国立民族学博物館友の会」会員番号(会員の方のみ) ⑦参加希望日  
「11月22日」

【宛 先】〒565-8511

吹田市千里万博公園10番1号

国立民族学博物館 企画課 博物館事業係

往信の宛名面

〒565-8511  
企画課  
国立民族学博物館  
博物館事業係  
万博公園  
吹田市千里  
万博公園  
10番1号

返信の文面

ご自分の  
住所・氏名

返信の宛名面

①氏名・ふりがな  
②住所  
③年齢(任意)  
④電話番号  
⑤参加希望人数  
⑥会員番号※  
(会員のみ)  
⑦11月22日

※消しゴムで消えるボールペンや、鉛筆のご使用はお控えください。

※「国立民族学博物館 友の会」維持会員および正会員の方は優遇枠がございます。

※参加申込された方の個人情報は、本研究公演にのみ使用いたします。



## 国立民族学博物館

●開館時間 ..... 10:00～17:00(入館は 16:30まで)

●観覧料 ..... 一般 420円／高校・大学生 250円／小中学生 110円

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

●交通のご案内  
大阪モノレール 「万博記念公園駅」徒歩約15分 \*自然文化園窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。

「公園東口駅」徒歩約15分

\*自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●バス ..... [近鉄バス] (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分、JR 茨木駅から約10分、「日本庭園前」下車徒歩約13分

万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分

\*「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。

●休館日 ..... 水曜日 (水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)

[大阪・万博記念公園]

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10番1号

企画課 博物館事業係

Tel:06-6878-8210 Fax:06-6878-8242

[www.minpaku.ac.jp/](http://www.minpaku.ac.jp/)

